



2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月14日

上場会社名 株式会社Geolocation Technology 上場取引所 福
コード番号 4018 URL <https://www.geolocation.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 敬介
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 山崎 陽子 TEL 055 (916) 0294
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第3四半期の業績 (2024年7月1日～2025年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	516	△6.2	39	△26.6	40	△25.9	26	36.7
2024年6月期第3四半期	550	△7.8	54	△51.9	54	△51.5	19	△74.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	16.94	16.62
2024年6月期第3四半期	12.47	12.25

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	750	604	80.3
2024年6月期	728	590	80.4

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 602百万円 2024年6月期 585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年6月期	—	0.00	—		
2025年6月期 (予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の業績予想 (2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	678	△5.4	42	△44.0	43	△43.7	28	△24.7	18.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期3Q	1,570,000株	2024年6月期	1,556,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	6株	2024年6月期	6株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年6月期3Q	1,559,577株	2024年6月期3Q	1,549,393株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：有（任意）

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(追加情報)	7
(株主資本等関係)	8
(財務報告の枠組みに関する注記)	8
(収益認識関係)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10
 [期中レビュー報告書]	 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、個人消費の持ち直しや訪日外国人需要の回復などにより緩やかな回復基調を示しましたが、エネルギー価格の高騰や円安の影響、さらには世界的な金融引き締めや地政学的リスクの高まりなどにより、先行き不透明な状況が続いております。情報通信業界においても、生成AIやビッグデータ、クラウド技術の進展により新たなサービスの創出が求められる一方で、個人情報保護規制やCookie規制の強化といった環境変化への対応が急務となっております。

このような状況の中、当社は「独自の技術とノウハウを開発し、地域社会にとって価値のある新しいインターネットサービスを提供する」という企業理念のもと、インターネットを通じて「地域社会の活性化」を行うことを使命とし、日々、事業活動を行っております。

当第3四半期累計期間においては、当社が保有する「SURFPOINT™」データベースおよび、「SURFPOINT™」をWeb上で利用できる「どこどこJP」の機能強化・価値向上に注力いたしました。新たな取り組みとして、「どこどこJP」のAPIを「API Hub」に提供することで、開発者・企業による利用範囲の拡大を図り、利便性と接触機会の向上に寄与しております。また、大手飲食チェーンに対するポイントシステムの導入・リリースを実現し、当社IP Geolocationデータの利活用領域を拡大いたしました。

さらに、コンテンツ管理マネージャー（CMS）でトップシェアを誇るWordPressにおいて、IP Geolocationが活用できるプラグインを提供したほか、IR動画メディア「IRTV」や、最新テクノロジーおよびデジタル社会に関連するニュースを扱うテクノロジーメディアサイト「GIZMODU」での動画公開、各種セミナーの開催などを通じて、当社およびサービスの認知向上にも努めております。

これらの機能追加および認知向上策と並行し、自治体向けDXメニューの整備や、既存・新規顧客向けのポストCookie対策としての解析支援サービス、セールスマーケティング支援メニューの充実にも取り組み、積極的な営業を推進しております。

今後も引き続き、売上高、技術力および企業価値の向上に努めてまいります。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は516,527千円（前年同四半期比6.2%減）、営業利益は39,791千円（前年同四半期比26.6%減）、経常利益は40,667千円（前年同四半期比25.9%減）、四半期純利益は26,422千円（前年同四半期比36.7%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(IP Geolocation事業)

IPアドレスに様々な情報を紐づけたデータベース利用サービス「SURFPOINT™」および、Webサイト訪問企業のリスト化や経路分析が可能な「らくらくログ解析」は、引き続き既存取引先による安定的な継続利用が見られ、売上は堅調に推移しております。特に「SURFPOINT™」は、金融庁による不正取引への監視強化を背景に、大手金融機関での採用が決定するなど、信頼性と実用性が評価され、仮想通貨取引業者や関連業種からの新規需要が増加しております。

「SURFPOINT™」をWeb上で利用可能な「どこどこJP」は、各種機能追加（例：「匿名ネットワークアクセスレポート」「気象アクセスレポート」等）を通じたサービス品質の向上に加え、既存顧客への継続的なフォローアップ、自社主催セミナーや展示会への出展などの営業活動により堅調に推移しており、解約数の低減にも併せて効果がでております。この結果、当社が提供するサブスクリプションサービスである「SURFPOINT™」「どこどこJP」「らくらくログ解析」の3サービス合計における売上高は、前年同四半期比で5.1%増となりました。

ターゲティング広告配信サービス「どこどこad」は、第3四半期において計画通りの水準で推移いたしました。当社が前期来より展開しておりますDX支援メニューの提案活動により、既存顧客からのアップセルに成功した複数の案件を受注しております。また、Cookie規制を背景にCookieの代替として1st Party Data活用をフォーカスしたSSP（Supply Side Platform）との連携案件も当期においてスタートし、第4四半期以降も継続して売上が見込まれております。

「てくてくスタンプ」については、大手飲食チェーン展開企業との案件が本格的にスタートし、堅調な稼働を見せております。これを契機に、類似する多店舗展開企業からの引き合いが増加しており、今後は飲食業界をはじめとする一般企業向けへの提案活動を強化してまいります。

一方、「web制作・各種受託開発」では、第3四半期に計画されていたアプリケーション開発案件をすべて滞りなく納品・検収したものの、新規案件の獲得が前年を下回ったことにより、売上高は前年同四半期比で減少となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における同事業の売上高は516,527千円（前年同四半期比3.1%減）、セグメント利益は39,791千円（前年同四半期比4.8%増）となりました。

(その他事業)

当第3四半期累計期間において見込んでいた案件は獲得できず売上は発生しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前事業年度末と比較して7,241千円減少し、700,787千円となりました。これは主に、売掛金が40,543千円、前払費用が18,542千円増加した一方、現金及び預金が68,715千円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末と比較して28,572千円増加し、49,273千円となりました。これは主に、長期前払費用が29,152千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末と比較して21,330千円増加し、750,060千円となりました。

(負債)

流動負債は前事業年度末と比較して6,793千円増加し、142,862千円となりました。これは主に、賞与引当金が6,222千円、前受金が6,638千円増加した一方、未払費用が1,784千円、その他に含まれる未払金が3,304千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比較して6,793千円増加し、145,202千円となりました。

(純資産)

純資産合計は前事業年度末と比較して14,537千円増加し、604,858千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上等により利益剰余金が10,862千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の業績予想につきまして、2024年8月14日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2025年5月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	614,304	545,589
売掛金	73,444	113,987
貯蔵品	95	917
前払費用	18,246	36,788
その他	2,237	3,617
貸倒引当金	△299	△113
流動資産合計	708,029	700,787
固定資産		
有形固定資産(純額)	3,170	3,571
無形固定資産	8,225	5,719
投資その他の資産	9,304	39,982
固定資産合計	20,700	49,273
資産合計	728,729	750,060
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,535	2,238
未払費用	33,824	32,039
未払法人税等	6,336	6,370
前受金	51,664	58,303
賞与引当金	—	6,222
その他	42,707	37,688
流動負債合計	136,068	142,862
固定負債		
その他	2,340	2,340
固定負債合計	2,340	2,340
負債合計	138,408	145,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	229,840	232,597
資本剰余金	221,340	224,097
利益剰余金	134,682	145,544
自己株式	△8	△8
株主資本合計	585,855	602,231
新株予約権	4,466	2,627
純資産合計	590,321	604,858
負債純資産合計	728,729	750,060

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	550,443	516,527
売上原価	214,311	187,468
売上総利益	336,132	329,058
販売費及び一般管理費	281,934	289,266
営業利益	54,197	39,791
営業外収益		
受取利息	5	319
講演謝金	403	527
受取手数料	274	—
その他	23	28
営業外収益合計	707	875
経常利益	54,904	40,667
特別利益		
新株予約権戻入益	525	—
特別利益合計	525	—
特別損失		
投資有価証券評価損	18,450	—
特別損失合計	18,450	—
税引前四半期純利益	36,980	40,667
法人税、住民税及び事業税	18,987	15,845
法人税等調整額	△1,331	△1,600
法人税等合計	17,655	14,244
四半期純利益	19,324	26,422

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	IP Geolocation 事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	532,886	17,557	550,443	—	550,443
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	532,886	17,557	550,443	—	550,443
セグメント利益	37,952	16,245	54,197	—	54,197

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	IP Geolocation 事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	516,527	—	516,527	—	516,527
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	516,527	—	516,527	—	516,527
セグメント利益	39,791	—	39,791	—	39,791

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は従来、「IP Geolocation事業」「IPアドレス移転事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、当会計年度より「IPアドレス移転事業」の収益性およびリスクの影響度が軽微であるため、財務報告の簡素化を図り、「その他事業」として表示することで全体的な理解を促進することといたしました。

「その他事業」の区分はIP Geolocation事業セグメントに含まれない事業セグメントであり、IPアドレス移転事業を含んでおります。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、当第3四半期累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	4,511千円	3,315千円

(追加情報)

該当事項はありません。

(株主資本等関係)

I 前第3四半期累計期間(自 2023年7月1日至2024年3月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年9月28日 定時株主総会	普通株式	7,743	5.00	2023年6月30日	2023年9月29日	利益剰余金

II 当第3四半期累計期間(自 2024年7月1日至2025年3月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年8月14日 取締役会	普通株式	15,559	10.00	2024年6月30日	2024年9月30日	利益剰余金

(財務報告の枠組みに関する注記)

四半期財務諸表は、証券会員制法人福岡証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準に準拠して作成しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	IP Geolocation事業	その他事業	計
サブスクリプションサービス	379,849	—	379,849
広告配信サービス	11,596	—	11,596
web制作・各種受託開発サービス	141,440	—	141,440
その他サービス	—	17,557	17,557
顧客との契約から生じる収益	532,886	17,557	550,443
外部顧客への売上高	532,886	17,557	550,443

(注)web制作・各種受託開発サービスについては、一定期間にわたり移転される財及びサービスと、一時点で移転される財及びサービスを含んでおり、取引内容によって区分しております。また、広告配信サービスは一定期間にわたり移転される財及びサービスであり、それ以外は一時点で移転される財及びサービスです。

当第3四半期累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	IP Geolocation事業	その他事業	計
サブスクリプションサービス	399,418	—	399,418
広告配信サービス	14,235	—	14,235
web制作・各種受託開発サービス	102,873	—	102,873
その他サービス	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	516,527	—	516,527
外部顧客への売上高	516,527	—	516,527

(注) 1. web制作・各種受託開発サービスについては、一定期間にわたり移転される財及びサービスと、一時点で移転される財及びサービスを含んでおり、取引内容によって区分しております。また、広告配信サービスは一定期間にわたり移転される財及びサービスであり、それ以外は一時点で移転される財及びサービスです。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は従来、「IP Geolocation事業」「IPアドレス移転事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期会計期間より「IP Geolocation事業」「その他事業」セグメントに変更しております。

「その他事業」の区分はIP Geolocation事業セグメントに含まれない事業セグメントであり、IPアドレス移転事業を含んでおります。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、当第3四半期累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています

(1株当たり情報)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	12円47銭	16円94銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	19,324	26,422
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	19,324	26,422
普通株式の期中平均株式数(株)	1,549,393	1,559,577
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	12円25銭	16円62銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	27,534	30,687
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

独立監査人の四半期財務諸表に対する期中レビュー報告書

2025年5月13日

株式会社Geolocation Technology

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ
静岡事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 嶋田 聖

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 望月 邦彦

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている株式会社Geolocation Technologyの2024年7月1日から2025年6月30日までの第26期事業年度の第3四半期会計期間（2025年1月1日から2025年3月31日まで）及び第3四半期累計期間（2024年7月1日から2025年3月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、証券会員制法人福岡証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準に準拠して、株式会社Geolocation Technologyの2025年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、証券会員制法人福岡証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、証券会員制法人福岡証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期財務諸表において、証券会員制法人福岡証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期財務諸表の表示及び注記事項が、証券会員制法人福岡証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上